

TAMC

会報

Bulletin of the Tokyo Amateur Magicians Club

Aug. 2023

令和5年8月号

主要内容(令和5年7月)

第1例会 7月4日(木) 8:00~20:00 田中田村町ビル5階 5C会議室

オークション・デー

第2例会 7月20日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル5階 5C会議室

会員発表：森田晃君 梶田明宏君 柳川幸重君 氣賀康夫君

土曜研修 7月15日(土) 13:30~17:00 阿佐ヶ谷地域区民センター

講師：田澤利明君 佐々木節夫君



2023年7月15日川崎利秋君逝去（写真は2007年家族会）

2023年9月の活動予定

第1例会：9月7日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル5階 5C会議室

第2例会：9月21日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル5階 5C会議室

土曜研修：9月16日(土) 13:30~17:00 電巧社Mシアター
(特別講師：バーディーコヤマ)

- ◆第1例会 7月4日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル 5C会議室
司会:大澤 泉 記録:梶田明宏 出席 33名(+Zoom 4名)

オークションデー

【当日の進行】

- 18:00 本日の予定、オークションの方法などの説明 大澤泉総務副委員長
18:15 入札締め切り
18:15 土屋会長挨拶
18:20 オークション開始 進行:山崎孝一君、牧原俊幸君
この間 18品
19:05 休憩
19:15 オークション再開
この間 11品
19:45 オークション終了

- ◆第2例会 7月18日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル 5C会議室
司会:神辺 貴昭 記録:梶田明宏 出席 23名(+Zoom5名)
動画撮影:濱谷堅蔵 <https://youtu.be/oh6oGstP7zY>

1. 会員による発表

- 1) 森田 晃 君 ラストカード4種 ほか 6頁
<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=23s>
2) 梶田 明宏 君 「サイコロに変化する箱」ほか 7頁
<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=34m22s>
3) 柳川 幸重 君 「スマホが演じるマジック」ほか 10頁
<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=50m6s>
3) 氣賀 康夫 君 第4回カードマジック基本講座 12頁
<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=1h9m29s>

2. 連絡報告

- 1) 村上大会委員長 秋の発表会演技内容報告のお願い 14頁

- ◆土曜研修 7月15日(土) 13:30~17:00 阿佐ヶ谷地域区民センター
講師:佐々木節夫 田澤利明 出席19名

テーマ:「ボランティアなど実践で役立つ簡単なマジック」 15頁

佐々木講師 「Any Card by Easy Way」

田澤講師 『火のついたトーチ to バラの花』ほか

◆オークションデー

7月第1例会は、例会では初めての企画として「オークションデー」とし、通常の会員発表は行わず、オークションのみを行った。海外のクラブでの実例を参考とした土屋会長の発案。

実際の企画運営は総務委員会が行った。今回のオークションの特徴は以下の通り。

- 出品は事前申告制。出品予定者は期日までに、品名とその説明、最低希望価格を運営担当者に連絡し、当日までにオークションの出品情報が運営担当者から全会員に周知された。
- 1000円以下の出品は、均一即売とし、時間までに希望者が複数あった場合は抽選とした。
- 落札金額のうち、一定割合を会に寄付することは、事務が繁雑になるので取り止め、代わりに寄付は任意で受け付けることとした。

会場が狭かったことや均一即売品の代金の受け渡しに一部混乱が見られるなど課題もあったが、オークション自体は、山崎孝一さん、牧原俊幸さんの進行で順調に進んだ。



オークション品の陳列



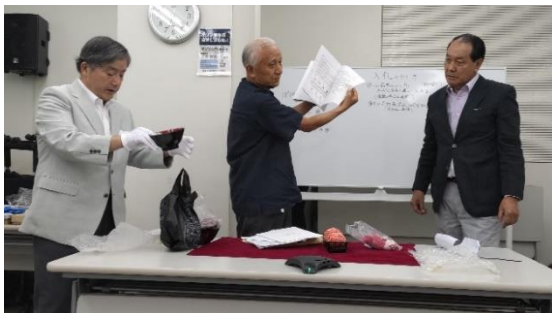
均一即売品の陳列



村上日出夫君 山崎孝一君



児玉武雄君



牧原俊幸君 蔵原克治君 山崎孝一君



山崎孝一君 田澤利明君

オークションの結果は以下の通り(出品者・落札者は省略)。

	品名	説明	希望価格	落札価格	寄附金
1	書籍 日本古来の伝統 奇術 和妻	日本奇術協会発行 北見マキ著 胡蝶の舞 袖玉子 おわんと玉 連理の白紙を図説 外 箱に日焼け、表紙角に少々つぶれあり、中身 は綺麗です	3,000	3,000	
2	モナ・リザの復活	額入りのモナ・リザを観客に改めてもらい、 紙袋に入れ、外からナイフを何度も刺すが、 取り出したモナ・リザには傷一つなく、その 額を観客に渡して改めても異常は見当たらない。 高級感あふれる手作りの本物の額とモ ナ・リザ。27cm×33cm	5,000	5,000	
3	モナ・リザのジグソー パズル (奇跡のラスト ピース：テンヨー製)	観客にジグソーパズルの多数のピースから裏 向きの一つを掴んでもらう。それがなんと一 つ欠落したモナ・リザのピースにぴったり当 てはまる。B5サイズの高級額縁 (定価4、0 00円)	4,000	4,000	
4	モナ・リザのジグソー パズル (クラケン方 式：手製)	ジグソーパズルの多数のピースから観客に自 由に一つを掴んでもらう。それがなんと一つ 欠落したモナ・リザのピースにぴったり当て はまる。組み立て300ピースのジグソーパ ズル (2、000円) をB4サイズの高級額縁 (定価2、000円) に入れ、すぐに演技で きる状態で出品。	5,000	5,000	
5	プレディクションボ ード	予言マジック (ミカメクラフト製)	5,000	9,000	
6	お椀と玉 (池田さんの 物)	お椀と玉の資料、DVD付き	3,000	3,000	
7	マイザーズ・ドリーム	コイン20個、ミカメクラフト製、DVD付 き	3,000	3,000	
8	ワイルドカトラリー	藤原邦恭さんのフォーク、ナイフ、スプーン	5,000	3,000	3,000
9	ダイスに貫通するウオ ンド	四角い筒 (小窓と小穴あり) にダイスを入 れ、筒の小穴からウオンドを入れてダイスを 刺した状態にする。気合とともにダイスがウ オンドから脱出	2,000	2,000	
10	ライジングカード (ス ケッチブック)	ひと昔前にはやったマジック、ほぼ未使用	5,000	3,000	
11	銀メッキ仕様6本リン グ	未使用です。銀メッキですので、銀特有の落 ち着いた光沢があります。銀磨きクロスで手 入れしてください。	2,000	3,000	
12	四つ玉研究 (書籍) 石 田天海師推薦/金沢天 耕著 力書房 昭和33 年 箱入り	伝説的な稀覯本。頒布番号100025 質問券、 力書房カタログ附属。ヤフオクで5000円 で出品	1,500	2,300	300
13	ミカメクラフト B0 X48「無尽蔵」	バラバラにして空で有る事を見せた箱から、 色々なシルクが次から次へと出てくる。	5,000	6,500	

14	Fusion Folio (スケッチ腕くらべ)	お客様と術者が交互に相手の姿をスケッチで描きます。術者の描いたスケッチが消えてなくなり、お客様の描いたスケッチ用紙の裏側に転写するというマジック（土屋が家族会で演じたマジック）（定価10,000円）中古品	3,000	3,000	3,000
15	あなたの好きな時間 (スウェーデン・タッチ)	お客様が好きな時間を言う。封筒から取り出した写真上の時計が、まさにその時間を指している。升田克也氏の傑作の最新版（写真をお客様に渡す事が出来る）（定価9,570円、新作、未使用）	3,000	3,500	3,500
16	ultimate Sketch Pad	スケッチブックに顔の絵を描く。術者がしゃべると、その顔も動き出す。（定価12,000円、中古品）	3,000	3,000	3,000
17	紙幣印刷機（絶版）	ミカメクラフト製、未使用（定価16,000円）白紙が、五千元、1万円と、2回変化させられます。	5,000	7,500	
18	リングボックス（廃盤品）	ミカメクラフト製、未使用（定価22,000円）お客様から借りたリングが消失し、ロックされた箱の中から出現します。	5,000	12,000	
19	プロジェクター	例会で使用していた2009年に購入した製品> 家庭でも使用可能なので希望者に譲ります。	0	3,000	3,000
20	ターベルコース（和文、英文）		10,000	15,000	
21	紅白シルクの大幕	縦1間、横2間の紅白だんだら模様の大幕。力書房に特注したもの。小さく折りたたためて瞬間的に大きくなる。	13,000	10,000	
22	石田天海賞受賞記念作品集	沢浩作品集 No.29 とセットで	3,000	5,000	
23	石田天海賞受賞記念作品集	氣賀康夫作品集	2,000	1,500	
24	石田天海賞受賞記念作品集	菅原茂作品集	2,000	1,000	
25	石田天海賞受賞記念作品集	Book of Shimada Haruo	2,000	1,000	
26	石田天海賞受賞記念作品集	小野坂東作品集	2,000	1,000	
27	石田天海賞受賞記念作品集	Tony Binaarelli 作品集	2,000	2,000	
28	石田天海賞受賞記念作品集	松田道弘作品集	2,000	1,000	
29	石田天海賞委員会配本	「カード・ファン・プロダクションの本・・・ミリオンカード物語」フロタ・マサヨシ著 No.22 とのセットで	3,000		
		【合計】	108,500	121,300	15,800

会員による発表

◆4種の「ラストカード」ほか

森田 晃 君

<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=23s>

私のところに「ラストカード」という名前のデッキが4組もあり、まずそれを紹介します。

1. 高木重朗さんが昭和39年の例会で発表した ザ・ラストカード(K09-58)

デッキをテーブルの上に7列7段に並べる。残る3枚は脇に表向きに置く。

そして客に好きな段を指定させて指定された段を1段ずつ取り除いて行き、最後に残った1段7枚を2列3段に並べ直す。

このとき余る1枚は表向きに脇に置く。その2列3段から好きなカードを1枚ずつ客に指定させて取り除くと、最後に残る1枚は客のカードである。

ダイヤの10が42枚も使われている。



2. 第6代会長の肝付さんが昭和44年の大会で演じた ザ・ラストカード (K16-03)

用意した板にデッキを縦6段、横8列に並べて、半端な4枚は客のカードでないことを確認して脇に除ける。

次に取り除く段を客に選ばせて1段だけ残し、残った段の8枚を2段4列に並べて、取り除く段を客に選ばせて1段だけ残し、2段2列に並べ直して取り除く段を客に選ばせる。

こうして最後まで残る2枚のうち客に好きな方を選ばせると、それは最初に客が引いたカードである。肝付さんは舞台での発表なので、カードを全部立てて見せる衝立を用意したらしい。

ハートの7が24枚も使われている。



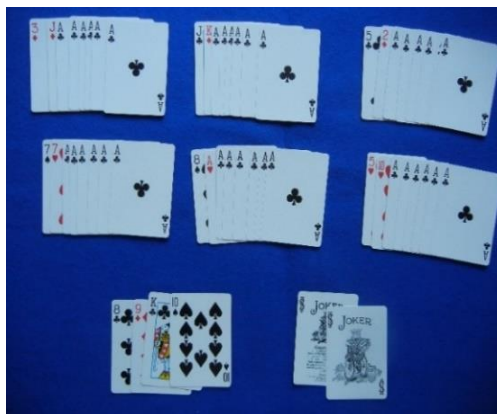
3. 松花堂から買い求めた ザ・ラストカード(A17-18)

デッキを8枚ずつの6つの山に分けて、余る4枚は客のカードでないことを確認して脇に除ける。

次に客が順番に1つずつ指定した山を脇に除けて、最後に残る山の8枚を1枚ずつ6ヶ所に置き、余る2枚は客のカードではないことを確認して脇に除ける。

最後に客が順番に1枚ずつ指定したカードを脇に除けて行くと、最後に残る1枚は最初に客が選んだカードである。

クラブのAceが36枚も使われている。



4. セオマジックから買い求めた ザ・ラストカード (A15-43)

デッキから客に好きなカードを1枚抜いて貰って見て覚えたらデッキに返して貰ってシャフルする。

次に客に両手を出して貰って、デッキを2分して客の両手に半分ずつ乗せ、客が決めた方を紙袋(帽子)の中に捨てる。残った方をまた2分し客の両手に半分ずつ乗せ、客が決めた方を紙袋に捨てることを繰り返す。こうして最後に客の手に残るのは客のカードである。



ハートの6が27枚も使われている。

以上のように「ラストカード」には多くの同じカードがセットされている。

第19回のMMTPでフォーシングデッキを落札された方は、単に客にカードをフォースするのではなく、「ラストカード」のような使い方をされると良いと思う。

そして最後に紹介したのは、ラストカードとは違って全部が異なるカードを使ったマジックです。

5. デートのお約束時間(K31-41)

裏模様が全部違う25枚のカードを持って客にデートの時間を聞き、答えた時刻の枚数だけカードを客に渡す。そして次のカードを時計の文字盤のように並べて予言の封筒を中央に置いて、客の時刻のカードを見るとダイヤの6である。

そこで予言の封筒を開くとダイヤの6なので客は驚くが、他の時刻のカードも全部がダイヤの6なので客は「何だ、インチキだ」と騒ぐ。しかし調べると全部が裏の模様が異なるのに中央の針と5時のカードだけは裏模様が同じである。

平成5年の例会で土屋さんがイギリス土産として発表したもの。



◆「サイコロに変化する箱」ほか

梶田 明宏 君

<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=34m22s>

1. サイコロに変化する箱

先日のオークションデーに出品するものを探していたら出て来たもの。現象としては面白く、また道具としても作りがよいが、いちども自分が演じないままオークションに出すのはもったいなく、この場で紹介することとした。いつかは、オークションに出す予定。

〈現象〉

- ①六面にオレンジの丸が描かれた立方体の箱と、蓋付きの四角い箱がある。
- ②立方体を箱の中に入ると、中からオレンジのボールが飛び出す。
- ③箱に蓋をしておまじないをかけ、蓋を開けると、立方体がサイコロに変化して出現する。



〈解説〉

オレンジの丸が描かれた立方体は、実は一面が丸く穴が空いており、そこにオレンジボールが入っている。その面だけ見せないようにして、その面を上にして箱に入れ、そこからオレンジボールを取り出す。箱は右端の写真のように、中は二重でサイコロが隠れている。蓋には、マグネットでサイコロの1面がつけられており、オレンジの立方体を入れて蓋をするとマグネットでその面が繋がり、サイコロが完成する。

2. 「フリップの IMPOSSIBLE(入れ替わり封筒)」演技とその「特殊封筒」の解説

〈演技〉

- ①一枚の封筒を開き、観客にその中の紙を取り出してもらおう。紙は白紙で、袋の中には何も残っていないことを確認してもらった後、紙を封筒の中に戻してもらおう。
- ②観客に一組のトランプのデッキを手にとってもらい、演者がその上からハンカチをかけて見えないようにした中で、「間から一枚カードを抜いて、それをひっくり返してトップに置いて下さい。それから、デッキの下半分くらいをとって、上に置いて下さい」と指示をする。
- ③ハンカチを取り、客からデッキを受け取り、「あなたの選んだカードは、この中で一枚だけ表になっているはずですよ」といってデッキを捻じ、一枚だけ表になっているカードを取り出し「これがあなたが選んだカード」ですと示す。
- ④「じつは、このカードを選ばれることは前から判っており、予言のカードは先ほどの封筒の中に入れてありました」といって、客に封筒の中の紙を取り出してもらおう。
- ⑤先ほどは封筒の中には白紙の紙だったのに、予言が印刷され紙が出て来て、客が選んだカードが示されている。

〈解説〉

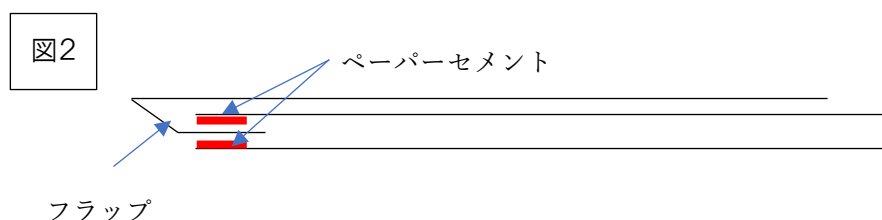
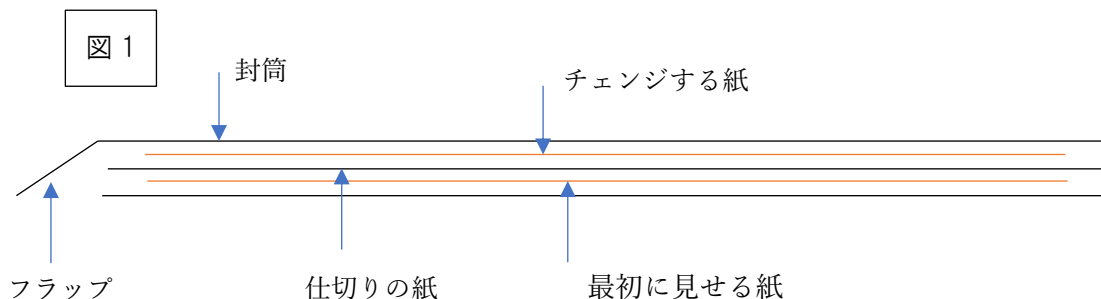
今回は、紙が入れ替わる封筒の仕組みが紹介したく、カードのマジックについての解説は省略する。封筒は、フリップがDVDで IMPOSSIBLE というタイトル紹介していた、入れ替わり封筒のアイデアで、いろいろな応用が可能である。

たとえば以前、家族会では次のような演技をした。最初封筒から取り出した紙には、ワインの絵が描かれている。いったんそれを戻してもらい、おまじないをかけて改めて紙を取り出してもらおうと、ワインの絵は消えてその部分が抜き取られている。それではワインの絵はどうなったのかと聞いて、袋のなかに手をつっ込み、本物のワインを出現させるという演技。

今回それを再演しようかと思ったが、上着を着てワインを隠す必要があり、あまりの猛暑で上着を着て

会場に来るのはつらいので、別の演技に切り替えた次第。

さて、封筒の仕組みであるが、同じ素材の紙で仕切られ二重になっており、最初に見せる紙と、後から見せる紙をそれぞれ入れておく(図1)。最初に見せる紙を入れる部分の口は、両側に特殊な接着剤(ペーパーセメント)が塗ってあり、演技前には、(図2)のように、間にフラップ部分を噛ませておけばくっつかないが、いったん紙を戻し、フラップを外して押さえるとくっつき、封筒をあけてもチェンジした紙しか取り出せないようになる。



ペーパーセメントは、ミツワ(福岡工業)製だが、同社のペーパーセメントには2種類あり、そのうち両面塗布タイプ(W-COAT)を使う。もう一方は片面タイプ(S-COAT)で、片面に塗るだけで接着されてしまい、準備の段階でくっついてしまい使えない。それに対して両面タイプは、片面に塗ってあるだけではくっつかず、両側に塗布されて初めて接着するので、(図2)のように、両塗布面の間にフラップをはさんでおけばくっつかず、数日前から準備しておいても大丈夫である。



ミツワ ペーパーセメント 両面タイプ
両面に塗布して始めて接着する



ミツワ ペーパーセメント 片面タイプ
通常の接着剤と同様、片面に塗布しただけで接着するので、このマジックには使えない。

このほか、類似の製品として、コクヨのペーパーボンドという製品があるが、ペーパーセメントの片面タイプと同じなので、このマジックには使えない。

3. 藤原邦恭の「ワイルドカトラリー」

第1例会のオークションデーで「ワイルドカトラリー」が出品された際、出品者の蔵原さんから、「これは梶田さんが得意としている云々」というような話があり、「得意」といわれて戸惑った。ずいぶん以前、藤原邦恭

さんが例会のゲストで来会され、その時実演販売された商品を購入して、その後の家族会で演じて、その後はすっかり忘れていた。

「ワイルドカトラリー」とは、カトラリー、つまりナイフ、フォーク、スプーンが入れ替わったり、出現したりする不思議な現象を演出するもの。藤原さんが来会の時の話では、自分の考えたアイデアを実現するために、カトラリー製造技術で有名な新潟の燕三条の業者に特注したとのことで、品質はしっかりしている。

今回の発表では、解説にあった演技を思い出しながら再現した。現在も製品はセオマジックなどで販売されており、藤原氏の演技動画もホームページで紹介されているので、そちらを参考にしていきたい。

<https://www.seomagic-jp.com/shopdetail/016000002082/>

3. お金を作る封筒

報告の数日前、たまたまユーチューブで見たマジック。面白そうで自作を試みたらすぐにでき、時間に余裕があったので紹介した。

大・中・小の色の違う紙があり、それぞれ巻三つ折りになっている。小の紙に紙幣大の白紙を挟んで折りたたみ、それを中の紙に包んで折りたたみ、さらにそれを大の紙で包んで折りたたみ、全体を一回転させた後、順番に開いていくと、最後に小の紙に包んだはずの白紙は紙幣に変わっている。その紙幣を白紙に換え、同じことを繰り返すと、やはり紙幣に変わる。この現象はもう一度繰り返しても同じ。

演技では、白紙が千円札に変わり、千円札を白紙に替えると五千円札に変わり、五千円札を白紙に替えると一万円札に変わるという演出にした。

ユーチューブの URL は以下の通り。ギミックの解説もある。

<https://www.youtube.com/watch?v=rGRLy-QtU6c>



4. 森下洋平氏の「奇術史研究ノート」TAMC関係記事の紹介

日本奇術協会発行『New ワン・ツー・スリー』に奇術史研究家の森下洋平氏が「奇術師研究ノート」と題する連載があり、最近TAMCの歴史に関わる内容の記事が掲載された。

No.9(2023年3月)「奇術の発明家」井上天遊

No.10(2023年6月)ドイツとTAMC ～緒方知三郎の理想とその源泉～

井上天遊はTAMCの正式の会員にはならなかったが、TAMC草創期より深く関わった人物。

なお、『New ワン・ツー・スリー』には、当会の神辺貴昭君が「数学マジック」を連載されている。

◆「スマホが演じるマジック」ほか

柳川 幸重 君

<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=50m6s>

1. スポンジボール

非常に古いマジックですがとても良いマジックなので、演じさせていただきました。

ふじいあきらさんの手順であり、ボールの出現、消失、お客様の手への移動、最後には四角い形への変化と、マジックにおける現象が一通り揃っているものでした。クローズアップマジックで大切な技法のまとめとして、マジックを



演ずる人はぜひ学びたいものだと思っています。

スポンジボールだけでしたら、Amazon で 10 個 ¥980 で購入可能です。

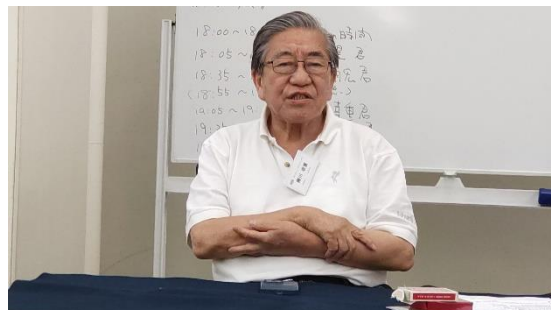
2. スマホ(iPhone)が演ずる「エニ・エニ」 any card at any number

『マジックショップ GIN』で販売している、VOX by David Jonathan を日本語化したものを演じました。
¥4950 (会員専用商品かも知れません)

マジックショップ GIN : <https://www.gin-magic.com/>

用いたデッキは、mnemonica のセットにしてある、
特殊なマークデッキです。これは、遠くからでもわ
かるのが特徴の「DMC Elites」と言われているもの
です。(Monthly magic Lesson Shoppers で緑の
バックのものが、¥2,300 で販売されています)

氣賀先輩が前回の例会解説していたような自
分で作成した見やすいものが一番良いと思いま
す。



3. ゆうきともの「実に面白い」というマジック

現象: Ace～9までのカードのうちの連続した 5 枚を用いて、お客様に選択されたカードのみが裏の色が異なるという現象です。

ゆうきとものさんの出しているマジック講義シリーズ monthly Magic Lesson 213 に発表されている手順です。

準備(セットアップ): Ace から9までのトランプカードを用意しますが、5だけは裏の色が異なるカードにしておきます。

演技: この 9 枚の表をスプレッドして見せて、その中の続いた 5 枚を用いると言い、どの部分を用いるか選ばせます。(9に近いほうの 5 枚でも Ace に近い方の 5 枚でも良いですが、9に近いと演技で数えるのに時間がかかりすぎるので、Ace に近い方が良いでしょう)

この 5 枚を時計回りに数が多くなるように円形に並べて、客にその上で指で円を描かせ、好きなところで止めてもらいます。

これ以降、指が止まったところによって、演技が異なることになります。

1. 5で止めてもらえたら、(ラッキー！)です 5 に指を乗せておいてもらい、それ以外のカードを裏返しで全て同じ色であることを示してから、5だけの裏の色が異なることを示して終了します。
2. 他の 4 枚の上で止まったら、「時計回りか、左回りか」選ばせます。
 - 2-1 左回りでしたら、そのカードの数だけカードを数えてもらおうと、5のカードになりますので、あとは 1. のようにして、5のカードの裏だけが異なった色であることを示します。
 - 2-2 時計回りでしたら、止まったカードの数だけ時計回りに数えて、着いたカードを裏返し、そのカードの数だけまた数えます。このようにしてカードを裏返していくと、必ず最後に5が残ります。ここからは、1. のようにします。

このように演ずると、必ず5が選ばれて、お客様の(または演者の)超能力が証明されたことになります。

単純な 9 枚のカードのマジックとしては携帯にも便利で良いマジックだと思っています。

<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=1h9m29s>

コントロールの応用マジック「カード釣り」(Card Fishing)

<解説> これは、少しの準備で、効果的なカード奇術をする作品である。手間がかかるが、それに十分値するだけの効果はある。

<効果> 一組のカードを用いる。観客が一枚のカードを選び、その名前を覚えて一組に戻す。

術者は魚釣りの釣り竿を取り出し、観客に手渡す。

観客がそれを点検している間に、術者は新聞紙を広げてその上に十数枚のカードを裏向きばらまく。

そこで、術者は釣り竿を手にして、魚釣りの動作を真似る。すると、釣り糸に一枚のカードがかかる。それは観客が選んだカードである。ところが、観客がカードを釣ろうとすると、もうカードが釣れることはない。



<用具の準備> 釣り竿ほかを工作することが必要であるが、この奇術の効果はそれに値する。

1. 馬蹄形磁石一個。

最近では百元ショップでネオジウム磁石のような小型で強力な磁石が売られているので、木やゴムを使って、それナイフやカッターで馬蹄形に削り、その先端に小型磁石を一個ずつボンドで止めて馬蹄形磁石のような品を手作製する方法もある。筆者は厚紙で工作してみたが、それも悪くない。

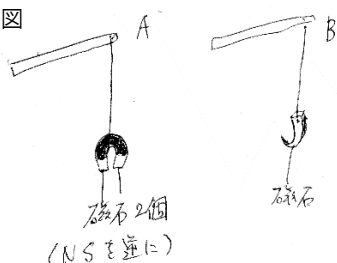
第1図Aはその外見であるが、種が磁石であるから、この釣り竿の先は磁石の姿でない方がよいという見解もあり、筆者は釣り針の形のを紙で工作してみた(第1図B)。この種を紙で工作し、中にネオネオジウム磁石をボンドで止めておくのであるが、工作の形に曲線があると工作がたいへん難しい。

2. 竿の部分は古い割りばし一本でよい。磁石の種を釣り竿部分と結びつけて釣り竿は完成である。

3. 次の種であるが、細いカミソリの刃など、磁石に着くものを新聞紙に挟んでボンドなどで貼り合わせたものである。いわば、新聞紙がパン、カミソリの刃が中味というサンドイッチである。これを小さくトリミングしてこの種は完成である。(第2図)

4. 新聞紙見開き2ページの中央付近にこの種を隠しておいて丁寧の四つに折り畳んでおく。

第1図



第2図

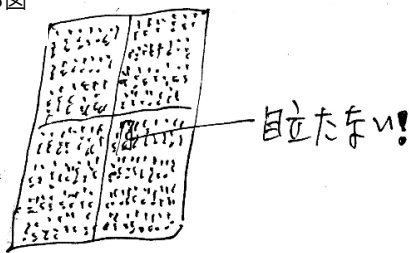


5. 演技に際しては四つ折りの中央付近にこの種を挟んでおく。演技中に新聞紙を広げたとき、この種が真ん中付近にあるのが理想である。

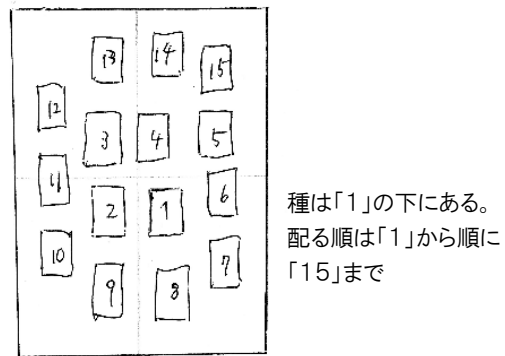
<方法>

1. カードには準備は要らない。一組のカードを取り出して、観客に一枚を選んで、見て、覚えてもらう。
2. そのカードを一組に戻してもらい、よく切り混ぜるが、コントロールの技法を用いてそれをトップに持つてくる。
3. 「お選びのカードを私は見ておりませんし、よく切り混ぜましたからそれがどこにあるかもわかりません。そこで、これから面白い道具を使ってお客様のカードを探し当てたいと思います。」と言う。
一組のカードは一旦テーブルの脇に置くが、そのトップは観客が見たカードである。そのことを観客は知らない。
4. ここでまず釣り竿(糸と磁石の種がついている)を取り出して、観客に手渡し、それを点検してもう。磁石のほかにも何も怪しいところはない。
その間に、新聞紙を広げる。広げたとき、カミソリの種が新聞紙の中央のやや右下に位置するのが適当である。その姿は新聞紙に溶け込んでしまい、観客はその存在に気づく心配はない。(第3図)

第3図

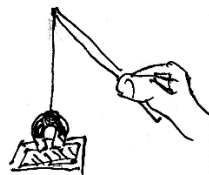


第4図



5. 次に、術者は一組のカードを手に取り、カードを上から一枚ずつ合計15枚～20枚くらい新聞紙の上に並べていく。
このとき大切なことは、最初のカード(選ばれたカード)を種の真上に置くことである。それからのカードは適当に並べればよい。(第4図)
6. ここまで来たら、釣り竿を受け取り、竿を右手に持ち、馬蹄形磁石がぶら下がるようにする。
そして、竿で魚を探すかのように、磁石がカードの上に触るようにしてみせる。関係ない数個所に触り、最後に種の個所のカードの上に馬蹄形磁石を持ってこると、磁石がカミソリを引きつけるので、あたかもカードが釣れたように見える。(第5図)

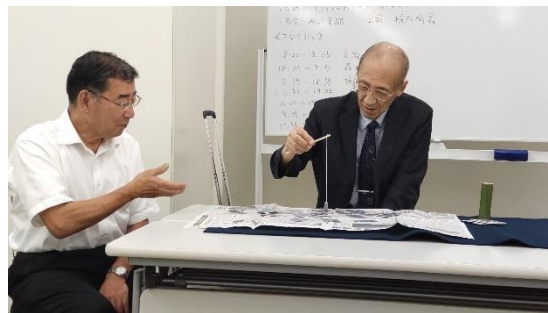
第5図



第6図



7. カードが釣れたら、左手で残るカードを全部新聞紙の左上に寄せてしまい、釣れたカードが新聞紙の中央手前付近の真上に来るように誘導し、左手でそのカードをしっかり水平に持ちつつ、右手の釣竿を真上に引き上げるようにする。この動作により、種はカードの陰で新聞紙の上にそっと落下してそこに収まるだろう。(第6図)このとき、角度を正しく操作しないと種が磁石にくっついてしまうというアクシデントに見舞われるので注意が必要である。



8. 最後に観客に選んだカードの名前を言っていただき、術者は左手のカードを表向きにしてテーブルの観客の前にそっと置く。
9. 演技が終わったら、カードを新聞紙の上に戻し、観客に釣り竿を手渡して試してもらうがもうカードは釣れない。終わったカードをすべてどけて、また元の四つに折り畳み脇にどけてしまう。カードを集めてカードケースに収めて正面に向かって一礼する。

<注> この解説では新聞紙を下敷きにして、新聞紙と同じに見える種を作って演ずる方法を取りあげた。参考のため、ほかの効果的な別法を説明しておこう。

- (1) 新聞紙の種を完成したら、その表裏に墨汁か黒インキを塗って種を真っ黒にしてしまう。そしてこの種を右手に隠し持ち、その右手でトップカードを取り、それをテーブルに置く。そのタイミングで、隠し持っていた種をテーブルにそっと落として、その上に観客のカードを置くようにする。この方法の場合には新聞紙を使う必要はない。ただし、最後に真っ黒な種は術者の膝に落ちるように仕向ける。そして、それを後刻、観客に気づかれないようにポケットにしまうのがいいであろう。
- (2) 種を黒く塗る代わりに、肉色に絵の具を塗っておくという案もあるだろう。これはパームしたまま、手がチラリを見せられるので、種の処分が要らないというメリットがある。
- (3) 種に砂鉄を使うという案もあるが、普通の砂鉄ではカードを持ち上げるのはむづかしい。鉄工所などで出る「鉄粉」なら、うまくいくかもしれない。この場合、演技が終わると鉄粉が床に落ちるので、そのまま放っておくことができるというメリットがある。
- (4) 新聞紙のサンドイッチの種の代わりに、表裏をカードの裏模様にする種も有力である。この場合は種を使わないカードの上に落として処分することができる。ただし、種をばれないようにパームしてテーブルに置く必要がある。

連絡報告

◆秋の大会出演者へのご願い

村上大会委員長

◆<https://youtu.be/oh6oGstP7zY?t=1h26m53s>

7月27日が演技内容報告書の提出締め切りとなっています。出演希望をされた方には報告書の用紙をメールにて送っていますので、必ず期日までに提出するよう、お願い致します。

◆「ボランティアなど実践で役立つ簡単なマジックの紹介」

参加者19名

難しいマジックではなく「簡単なマジックを演出まで含めてワークショップ形式で徹底的にレクチャーする」という方針で企画しました。

講師:佐々木節夫

縦につながった8枚のフェイスカードを客に示し、1枚決めてもらう。

演者が上から順にマーク代わりのクリップを上からゆっくりと下げてゆき、客のカードにたどり着いて裏返すと、なんと他のカードはすべて赤裏だが、客のカードだけは青裏になっている。



全員で、このマジックのネタを作成し演技の練習をしました。



講師:田澤利明

1. 『火のついたトーチ to バラの花』(家族会で田中さんが演技されたマジック)

一見簡単そうに見えますが、田中さんも 200 回は練習されたとおもいます。先日マジック経験者の仲間内でレクチャーしましたが、火をつける事、火を消してバラの出現だけでもこずっておられ、更に、「単に下から移動させただけの薔薇の花が突然出現した」というように見えること、そしてきれいに見せる演技の方法などで、30分掛かりました。



2. 『両手のサムライト(デイライト)の基本と演出』

この原理は単に親指のLEDのスイッチ動作だけですが、動きは当にパントマイムです。親指が光るという単純な現象が不思議に見えるという演技方法を身に付けてください。



3. 『千円札 to 一万円札』

サムチップを使わない方法で、都とさんから学びました。サムチップを使わないこの方法はとてもシンプルで簡単です。如何に不思議に見せるかという方法は親指と人差し指だけで操作し、怪しい操作をしないことで、ロープやシルクなど、他のマジックのハンドリングにも役立ちます。

4. 『ティッシュ to マスク』(家族会で田中さんが演技されたマジック)



(以上の動画) <https://youtu.be/ivupJljc8Bo>

TAMC会報 令和5年(2023)8月号

担当:梶田明宏